



9.産業と技術革新の基盤をつくろう

みなさんmiraiプロジェクト

「みなさんmiraiプロジェクト」は、最大規模の慶應の森がある南三陸町(宮城県)において、南三陸「で」・「から」・「と」学ぶ、すなわち、震災を乗り越えて様々な問題に立ち向かっている現地の方々から学び、さらに日本・世界へと視野を広げて、未来に活かす知見を現地の方と交換する、学びの循環をつくろうとする取り組みです。研究領域・所属キャンパスの垣根を超え、多様な学生や教員が参加しています。

9月8～10日に、第一期生による合宿を行いました。塾生20名と代表の経済学部 津田真弓教授を中心とした教職員7名が、山主として南三陸町の木材の世界的FSC認証にも関わっている慶應の森を軸に、町のバイオマス構想・木材(南三陸杉)・漁業(養殖)・防災(避難所運営)と、南三陸町の方々の試みや経験を学びました。

オープンセミナー「ブルーテックが変える日本の海」開催

2024年2月29日、新川崎先端研究教育連携スクエアと川崎市経済労働局は、オープンセミナー「ブルーテックが変える日本の海」を開催しました。ブルーテックとは、Blue Technologyの略称で、海洋分野での先端デジタル技術のことです。

海水温の変動とそれに伴う漁獲量の変化、「海の森」と言われる藻場が消失する磯焼けなど、問題が顕在化している中、海洋分野はデジタル化やIoT化が最も遅れていると言われており、ブルーテックの推進による課題解決やビジネス創出への期待が高まっています。

セミナーでは、ブルーテックに取り組む研究・実務の第一人者を招き、その取り組みの紹介や座談会を実施しました。



古谷 知之教授



清水 悦郎教授



渡邊 真一郎氏



伊藤 和徳氏